



平成30年12月17日

ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ推進協議会

横須賀市にて今年3月スタートした、「ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ」の取組みとして

「ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ 2019 ～スマートに乗って、まちの未来を体感～」を開催

2019年1月24日（木）から26日（土）までYRP（横須賀リサーチパーク）にて「ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ2019」を開催します。

本行事では、日本初となる公道での時速30kmのレベル4の自動運転（限定地域での人が介在しない緊急停車等を含む自動運転）などスマートモビリティに関するデモンストレーションや展示、夢のあるまちの未来像を描く講演などのシンポジウム、小中学生のイラストコンテスト、ビジネスマンや大学生のビジネスアイデアに関するコンテストなどを実施します。

ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ 2019 の開催のポイント

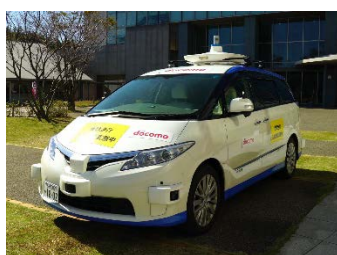
・ 先進的なモビリティサービスを来場者が体感

デモンストレーション・展示では、自動運転の自動車・バスや次世代型のパーソナルモビリティなどが、一堂に会したスマートモビリティに関する最新の実装や開発の成果を体験できます。

出展物の詳細や最新情報、体験乗車申込み（12月中に開始予定）情報は、ホームページ（<https://www.sukamobi.com/exhibition/>）を参照ください。

<主な出展物の紹介>

①日本初 ※の時速30kmのレベル4公道自動運転デモ



※平成30年12月時点、事務局調べ
出典：NTTドコモ



②観光利用による社会実装を想定した電動自動運転バスの巡回サービス体験デモ



出典：群馬大学

③地域の足としてのグリーンスローモビリティ体験デモ



出典：京浜急行電鉄

④「地域最適化」による、水害にも強い次世代の超小型電気自動車 FOMM ONE 展示



出典：FOMM 社ホームページ

⑤ パーソナルモビリティによる地域生活コンシェル
ジュ体験デモ



出典：テムザック社ホームページ

⑥ 段差や急傾斜など様々な障害を突破する全地形
対応個人用 EV の実演デモ



出典：APAV（仮）

・未来のまちづくりに向けた議論や対話等を実施

シンポジウムでは、有識者、交通事業者等の企業、地方自治体、市民の方々が一体となって、横須賀スマートモビリティ宣言の趣旨を踏まえ、今後、スマートモビリティに関する技術やサービスを駆使して、どのような社会や市民生活を築き上げていくかに関するビジョンや方法について議論や対話を行います。

アイデアコンテストでは、未来のまちづくりを革新する様々な可能性を秘めたスマートモビリティに関するビジネスアイデアを掘り起こすため、大学生や企業、研究者等によるコンテストを実施します。

・スマートモビリティによる未来のまちづくりを宣言（横須賀スマートモビリティ宣言）

ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ推進協議会は、以下のような技術・サービスの実現を通じて、横須賀における未来のまちづくりに挑戦することを宣言します。

- ① 高齢者や障がい者、困っている人が、快適に生き活きと生活を維持できるモビリティの技術・サービス
- ② 維持コストが小さく、高効率かつクリーンで安全な都市や交通を支えるモビリティの技術・サービス
- ③ 地域外や海外から人を呼び込み、域内を楽しく周遊できるモビリティの技術・サービス

ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ 2019
の今後の情報提供

・強力なサポーターの来場情報、さらに充実した出
展情報を 1 月中旬に発表

キックオフセレモニーなどの式典への来賓、デモンストレーション・展示のさらに詳細な情報を 1 月中旬に発表いたします。

【報道発表のお問い合わせ】

ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ
推進協議会事務局

(株式会社横須賀テレコムリサーチパーク、
YRP 研究開発推進協会)

安井、佐竹

電話：046-847-5008

メール：yokosuka-mobi@yrp.co.jp

■ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ 2019 の開催概要

- 目 的 横須賀市、株式会社横須賀テレコムリサーチパーク及びYRP研究開発推進協会は、2018年3月、YRPや横須賀市に、ニーズに合わせた様々なスマートモビリティ（賢く優れた移動性）を確保・展開する取組み「ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ」を開始しました。この「ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ」の取組みを広く周知し、技術・サービス分野から利用分野まで幅広い方々とともにイノベーションを起こすきっかけとすることを目的として開催します。
- 開催日程 プレビューデー：2019年1月24日（木）
一般公開日：2019年1月25日（金）、26日（土）
- 場 所 横須賀リサーチパーク（YRP）内 YRPセンター1番館、NTTドコモR&Dセンタ1号館 ほか
住 所：神奈川県横須賀市光の丘3-4
アクセス：京急線YRP野比駅から京急バス7分「YRPセンター」下車
- 主 催 ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ推進協議会
（会長：横浜国立大学 中村 文彦 理事・副学長）
- 後援予定 総務省関東総合通信局、経済産業省関東経済産業局、国土交通省関東運輸局、神奈川県、（国研）情報通信研究機構、（国研）海洋研究開発機構、
（特非）ITS Japan
- ご来場に当たって
※無料でご入場いただけます。
※今後の検討により時間、場所などが変更されることがあります。
※最新情報は、<https://www.sukamobi.com> に掲載します。
※シンポジウム及び一部の体験乗車は、事前登録が必要です。関連情報は、随時
<https://www.sukamobi.com> に掲載します。
※ご来場は公共交通機関のご利用をお願いいたします。
- イベントWEBサイト：<https://www.sukamobi.com>
※ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ 2019 の最新情報を掲載
- イベント事務局
ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ 2019 事務局
（株式会社横須賀テレコムリサーチパーク、YRP 研究開発推進協会 担当：佐藤、二本木）
電話：046-847-5155（受付時間 平日 10：00～17：00）
メール：sukamobi2019@yrp.co.jp

■プログラム概要（予定）

1月24日（木）プレビューデー（招待者のみ）

10時～10時45分

- ◆開会式（開会式招待者のみ）【場所】Y R Pセンター1番館Y R Pホール
開会あいさつ、来賓あいさつ、
ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ2019の概要説明

14時～14時30分

- ◆キックオフセレモニー（キックオフセレモニー招待者のみ）

【場所】NTTドコモR&Dセンタ1号館

開会あいさつ、来賓あいさつ、応援メッセージ、
横須賀スマートモビリティ宣言

16時30分～17時

- ◆アイデアコンテスト表彰式【場所】NTTドコモR&Dセンタ1号館

10時～16時

- ◆自動走行デモンストレーション・体験乗車、展示
（一部の体験乗車は事務局であらかじめ時間を指定させていただきます。）

1月25日（金）一般公開日

10時～17時 ◆シンポジウム（事前登録者優先）【場所】NTTドコモR&Dセンタ1号館

10時～17時 ◆自動走行デモンストレーション・体験乗車、展示
（一部の体験乗車はホームページから事前登録が必要です）

1月26日（土）一般公開日

10時～11時 ◆乗り物アイデアイラストコンテスト表彰式
【場所】NTTドコモR&Dセンタ1号館

11時～16時 ◆シンポジウム（事前登録者優先）【場所】NTTドコモR&Dセンタ1号館

10時～16時30分 ◆自動走行デモンストレーション・体験乗車、展示
（一部の体験乗車はホームページから事前登録が必要です）

16時30分 ◆閉会

■ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジについて

横須賀では、スマートモビリティ（スマートな移動性）の開発・実装を推進し、この成果をまちづくりに生かすことによって、地域の課題解決や、活性化を図る取組みを進めています。この取組みにより、横須賀において次世代モビリティ社会を先駆的に実現し、横須賀モデルとして日本・世界に展開することにより、新たな産業の中心地を目指します。

「ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ」は、産学官で構成するヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ推進協議会（事務局：横須賀市、YRP 研究開発推進協会、(株)横須賀テレコムリサーチパーク）が、横須賀をフィールドとしたスマートモビリティの開発・実証を推進し、同市における関連・周辺産業の集積を図るとともにこれらの産業資源を活用して、新たな事業の創出、社会課題の解決、地域活性化等を促進しています。

■目標

横須賀が目指す3つのまちづくりのビジョン（「誰もひとりにさせないまち」、「新たな価値をつくるまち」、「活かに溢れるまち」）を、スマートモビリティの社会実装をつうじて先駆的に実現するとともに、これらの成功モデルを日本・世界に展開することにより、横須賀を次世代モビリティに係る新たな産業の中心地とする。

■推進体制

平成30年3月、この取組みを産官学の関係団体が一体となって総合的に推進するため、「ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ推進協議会」が設置されました。

会長	中村 文彦	横浜国立大学 理事・副学長
副会長	規矩 大義	関東学院大学 学長
委員	荒川 堯一	横須賀市観光協会 会長
委員	岡田 英城	横須賀商工会議所 議員
委員	掛江 浩一郎	関東運輸局 局長
委員	角野 然生	関東経済産業局 局長
委員	門脇 直人	(国研)情報通信研究機構 理事
委員	黒瀬 泰平	関東総合通信局 局長
委員	篠崎 資志	(国研)海洋研究開発機構 理事
委員	鈴木 立也	横須賀市社会福祉協議会 会長
委員	田中 茂	横須賀市 副市長
委員	玉垣 努	神奈川県立保健福祉大学 リハビリテーション学科 作業療法学専攻 専攻長
委員	土井 三浩	日産自動車(株) 総合研究所 所長
委員	中村 寛	(株)NTT ドコモ 取締役常務執行役員(CTO)、R&D イノベーション本部 本部長
委員	原田 一之	京浜急行電鉄(株) 取締役社長
委員	堀 洋一	東京大学大学院 新領域創成科学研究科先端エネルギー工学専攻 教授
委員	山本 洋一	神奈川県 産業労働局 産業部 部長

顧問	小泉 進次郎	衆議院議員
顧問	鈴木 茂樹	総務省 総務審議官
顧問	上地 克明	横須賀市 市長

■ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ 2019 シンポジウム プログラム

※最新情報は、<https://www.sukamobi.com> に掲載します。

※シンポジウムは、事前登録が必要です。登録関連情報は、随時 <https://www.sukamobi.com> に掲載します。

■会 場： 横須賀リサーチパーク（Y R P）NTTドコモR&Dセンタ1号館

■アカデミア、ビジネスシンポジウム

1月25日（金）

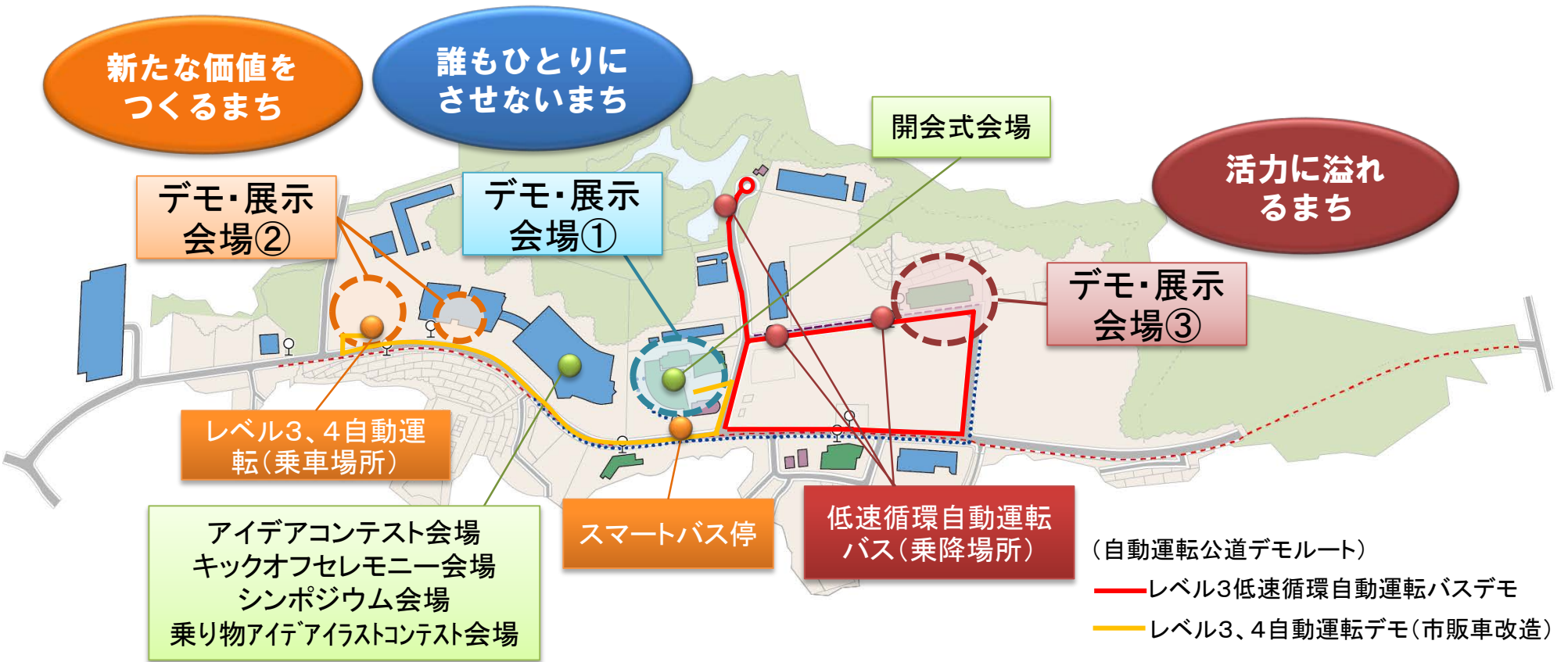
プログラム	時 間	題 名	講 師（敬称略）
基調講演	10:00-10:30	ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジの概要と将来への期待（仮）	中村 文彦 横浜国立大学 理事・副 学長
プレゼンテーション1	10:40-11:10	モビリティ産業の現状と最新動向（仮）	日産自動車
プレゼンテーション2	11:20-11:50	MaaS、スマートモビリティの動向（仮）	DeNA
プレゼンテーション3	13:00-13:20	横須賀発 スマートモビリティの取り組み	横須賀市
パネルディスカッション1	13:35-14:40	◆持続可能な郊外住宅地を支える交通システム 市民生活や地域経済を支える交通システムは、高齢化、人口流出が進展している中で変革を迫られている。 まちの構造としても、地域ごとに商業集積地、病院、行政出先機関などの必須の生活インフラが集約され、それらとの円滑な往来を実現できるコンパクトシティ化が求められてきている。また、横須賀では丘陵が多く平地が少ない地形に起因する個人の移動の困難さも大きな課題となっている。 このようなまちづくりが求められている中で、利用者のための交通システム、実際の実証導入の現場において直面する課題などの点に各分野の識者、専門家が意見を述べ合う。	【モデレーター】 有吉 亮 横浜国立大学大学院 都市イノベーション研 究院 特任准教授 【パネリスト】 調整中
パネルディスカッション2	14:40-15:55	◆モビリティ技術やプラットフォーム技術で実現するスマートモビリティ・ソリューション 横須賀の地形的な問題などから生じるモビリティに関する諸課題に対してどのような技術をどのように利用して解決に導くのか、リーズナブルなコスト負担で自律的に成立させるために必要なことは何かなどについて、自由に解決策を発想していく。	【モデレーター】 杉浦 孝明 三菱総合研究所営業本 部 副本部長 【パネリスト】 調整中
プレゼンテーション4	16:10-16:50	モビリティ2.0～「スマホ化する自動車」が地域経済の活性化を促す～	深尾 三四郎 浜銀総合研究所調査部 産業調査グループ 主任 研究員

■市民シンポジウム

1月26日(土)

プログラム	時 間	題 名	講 師 (敬称略)
プレゼンテーション1	11:10-11:50	100年後のクルマ ～モータ/キャパシタ/ワイヤレスへのパラダイムシフト～	堀 洋一 東京大学大学院新領域 創成科学研究科先端工 ネルギー工学専攻 教授
プレゼンテーション2	13:00-13:40	未来のスマートな乗り物の開発(仮)	SkyDrive
プレゼンテーション3	13:50-14:30	<小さい交通>の大きな可能性	大野 秀敏 ネクスト・モビリティ・ コミュニティ代表、アプ ルデザインワークショ ップ代表取締役社長、東 京大学名誉教授
パネルディスカッション	14:50-16:00	◆スカモビで私たちの横須賀を輝く街に！ 横須賀市は人口 40 万人程の中核都市であり、海も山もあって食べものが美味しく、観光地としてのポテンシャルは高いので、それらの資源を生かし、未来を背負っている子どもたちがずっと住み続けてもらえるような魅力あふれる街を目指す。 一方で横須賀は坂道や階段が多いため老人の在宅介護が難しいところも多いため、1日も早く解決することが望まれる。 これらの課題を解決し、一方で横須賀の輝く未来をつくっていくために、スマートモビリティをどう生かせばいいのか、横須賀を「輝かせる」ために頑張っている方々が、それぞれの考えを述べ合う。	【モデレーター】 楠田 悦子 モビリティジャーナリスト 【パネリスト】 千葉 理恵子 ティー・エム・シー 専務 取締役(三浦半島女性ビ ジネスネットワーク 代 表) 寺元 敏光 東京湾フェリー 常務取 締役 永野 寛 神奈川県社会福祉事業 団横須賀老人ホーム北 下浦地域包括支援セン ター 管理者

■ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ2019会場マップ



■ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ2019出展物

※ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ推進協議会資料から事務局にて作成

■ : 屋外デモ ■ : 屋内デモ □ : 展示

デモ・展示会場①
(YRPセンター1番館付近)

テーマ:「誰もひとりにさせないまち」	
出展名	出展者
①地域の足としてのゲー リンスローモビリティ	京浜急行電鉄
②日産ニューモビリティコ ンセプト	日産自動車
③乗る人と見守る人を笑 顔にするモビリティZieD- C1	ジード
④車いすのまま乗車でき る電動三輪バイク	ワイディーエス
⑤5Gを活用した知的交通 インフラ	情報通信研究 機構
⑥全地形対応個人用EV	APAV(仮)
⑦自律型モビリティ(電動 車いす)	NTTコミュニケーショ ンズ等
⑧歩行トレーニングロボッ ト	パナソニック
⑨WHILL Model C	WHILL
⑩AI搭載対話型自動運転 車いす	久留米工業大 学
⑪球乗型モビリティ「オム ニライド」	諏訪東京理 科大学
⑫ロボット買い物カート	埼玉大学
⑬超小型電気自動車 FOMM ONE	FOMM
⑭ドローン物流等を支え る無線技術	情報通信研究 機構

デモ・展示会場②
(NTTドコモR&Dセンタ2号館付近)

テーマ:「新たな価値をつくるまち」	
出展名	出展者
①自動運転レベル4(市販 車改造)	NTTドコモ
②自律型モビリティ(自動運 転レベル3(市販改造車))	NTTコミュニケーショ ンズ等
③AI運行バスのMaaSプラッ フォームへの進化～移動最 適化＋サービス連携による 日本版MaaS実現の取り組み	NTTドコモ
④プロパイロットパーキング	日産自動車
⑤モビリティロボット「セグ ウェイ」	セグウェイジャパ ン
⑥5Gデモバス	NTTドコモ
⑦パーソナルモビリティによ る地域生活コンシェルジュ	NTTドコモ、テム ザック
⑧ニューコンセプトカート	NTTドコモ
⑨よそ見検知、乗務員見守 り技術	NEC
⑩移動需要予測技術の実用 化～タクシー需要予測サー ビス「AIタクシー(R)」	NTTドコモ
⑪セルラーV2X共同実証	NTTドコモ
⑫VR自動運転シミュレー ター	ネクスティエレクトロ ニクス
⑬自動運転、隊列走行、遠 隔操縦	慶應義塾大学

注)「AIタクシー」は(株)NTTドコモの登録商標です。

デモ・展示会場③
(YRP5番館付近)

テーマ:「活力に溢れるまち」	
出展名	出展者
①低速循環自動運転バス	群馬大学等
②みうらレンタサイクル	みうらレンタサイクル 運営協議会
③電動三輪自動車	日本エレクトライ ク
④浮遊球体ドローンディス プレイ	NTTドコモ
⑤多言語による案内ロボッ ト	下町ロボット
⑥ロボットネットワーク実験	芝浦工業大学
⑦多言語音声翻訳ロボット	見果てぬ夢
⑧農業用人追従ロボット	アイ・イート
⑨Easy Ride	日産自動車
⑩スマートモビリティによる 地域活性化	沖電気工業
⑪ドローンによる災害の備 え	KDDI
⑫ドローンを用いたリアル タイム 海洋監視等	光電製作所
⑬自律型ロボットによる海 洋スマートオブザベー ション	海洋研究開発 機構

※出展物は今後変更されることがあります。
※一部のデモ・展示は時間や期間を限定して
実施します。